

みみネット

-Index-

- ・令和8年度みみネットアカデミー（聴覚障がい理解研修会）Ⅱ
選択講座①②～アンケートより～
- ・夏の甲子園開会式に手話言語が導入！
- ・「伝える力」が未来をひらく～セルフアドボカシー～
- ・幼稚部 公開保育のご案内



紙上報告！夏季研修会②

前号に引き続き、本校主催の研修会について掲載します。今号では、「みみネットアカデミー（聴覚障がい理解研修会）Ⅱ」選択講座①②の様子を紙上報告します。

みみネットアカデミー（聴覚障がい理解研修会）Ⅱ

令和8年7月28日（火） 参加者30名

～受講者アンケートより～

【選択講座①】

きこえの基礎

- ・きこえ方は色々あり、音がきこえているからといって内容が分かってはいないんだと学ぶことができた。つい「分かった？」と聞いてしまう事が多いので、内容も確認して伝えていこうと思った。
- ・難聴のきこえ方や補聴器からのきこえ方が体験できたのが、すごくよかった。また、苦手な子音や耳のしくみもわかりやすかった。



発音指導

- ・構音障がいの児童への自立活動に大いに参考になった。
- ・楽しく遊んでいる感覚で練習に取り組めること、息の出方など目で見てわかることの大切さがわかった。
- ・どのように伝えたら良いのか悩んでいたのが、具体的な方法を知れてすごくありがたかった。どの文字が苦手かを確認してためていきたい。

難聴体験

- ・きここうと集中しないと周りの音が聞きとれず、ものすごく疲れました。口をしっかりと開いたり、ジェスチャーがあることでずいぶんききとりのヒントになることがよく分かった。
- ・きこえないで何が困るかがよく分かった。誰が話しているかわからなくなるといったことは、今まであまり考えられていなかったなと思った。



地域の学校での聴力測定の方法



- ・聴力検査の方法、オーディオメーターを使う以外の方法なども教えていただき、早速学校でできるかを検討していきたい。
- ・補聴器を着けている児童の検査の受け方や検査の仕方では楽器を使う方法などを教えてもらいとても参考になった。

【選択講座②】

学校で使えるコミュニケーション方法

- ・実際に体験でき、日常使える場面に置き換えながら経験できたのがよかった。
- ・学校生活で身近な単語を教えていただき、とても勉強になりました。今回で終わりではなく、手話が少しでも身につけられるよう続けて学んでいきたい。

きこえと障がい認識

- ・セルフアドボカシーについて、とても考えさせられる内容でした。聴覚支援に限らず、いろんな支援の現場で子どもに必要なスキルだと思った。
- ・補聴器＝正常値と同じくらい聞こえると思っていた。



補聴器と人工内耳・補聴援助システム（ロジャー）

- ・補聴器で解決するという事じゃないんだという事がわかった。
- ・実際に補聴器をつけたり、ロジャーを使用して経験することができたことが良かった。

研修会へのご参加ならびにアンケートへのご協力、ありがとうございました。

また、12月25日（金）には「みみネットアカデミー（聴覚障がい理解研修会）Ⅲ」を開催予定です。詳細は11月号でご案内いたしますので、ぜひご参加ください。



夏の甲子園開会式に手話言語が導入！



2026年の夏の甲子園（全国高等学校野球選手権大会）では、開会式・閉会式に初めて手話通訳が導入されました。司会進行や学校名の紹介が手話で表現され、その様子は球場の大型ビジョンにも映し出されました。

開会式では高校生が手話通訳を担当し、出場校の校名も各地域の表現を尊重して紹介されました。今回の取組により、聞こえる人も聞こえない人も同じように式典の感動を共有できる機会が広がりました。全国が注目する甲子園の舞台で手話通訳がついたことは、情報保障や手話言語への理解を広げる大きな一歩となりました。これからも、誰もが参加しやすい社会の実現につながる取組が広がることを期待したいです。



コラム：「伝える力」が未来をひらく ～セルフアドボカシー～

発達段階におけるセルフアドボカシー学習（幼児期編）

幼児期は、自分の聞こえや補聴器・人工内耳について理解し始める大切な時期です。家庭や園、医療機関が連携しながら、「困ったときに助けを求める力」を少しずつ育てていきましょう。

【幼児期に大切なこと】

- ・困ったときに相談できる人を知り、「伝えると助けてもらえる」という経験を積む
- ・補聴器や人工内耳の簡単な操作や、自分の聞こえについて少しずつ理解する
- ・補聴器や人工内耳を前向きに受け止め、自分らしく生活するための大切な道具として認識する
- ・挨拶や感謝の言葉を通して、人との関わりや社会性を育てる

子どもが自分の聞こえを理解し、必要な支援を求められる力は、将来の学校生活や社会生活につながる大切な力です。周囲の大人が同じ方向を向いて支えていくことが大切です。

参考書籍：『聴覚障害児のためのセルフアドボカシー』

幼稚部 公開保育のご案内

本校幼稚部では、来年度入学を検討している保護者を対象に公開保育を開催しています。ぜひ、ご参加ください。

1. 日時 令和8年11月17日（火） 10:00～11:45
2. 場所 本校幼稚部
3. 対象 R9年度入学を検討している幼児とその保護者
4. 内容 校内見学及び説明
5. その他 駐車場はありません。公共交通機関でご来校ください。
・スリッパや上靴をご持参ください。
・敷地内、路上は全面禁煙です。



〒540-0005 大阪市中央区上町 1-19-31

大阪メトロ：谷町線・中央線「谷町4丁目」⑩番出口 南東約600m

谷町線・長堀鶴見緑地線「谷町6丁目」⑦番出口 北東600m

シティバス：上町一丁目もしくは国立病院前下車

＜申込方法＞ 参加は、事前申し込みが必要です。
保護者の方は、参加希望の旨を所属園にお伝えください。

＜問い合わせ＞ 大阪府立中央聴覚支援学校 幼稚部（担当）壺井
TEL 06-6761-1419
FAX 06-6762-1800

締め切り 11月10日（火）

「みみネット」編集部：

大阪府立中央聴覚支援学校 聴覚支援センター 担当：塩谷、只腰、長谷川、萩原

〒540-0005 大阪市中央区上町 1-19-31

TEL 06-7712-1405（支援関係）／ 06-6761-1419（学校代表）

FAX 06-6762-1800